

平成 21 年 10 月 19 日 各会計決算特別委員会第 1 分科会

○**小林委員** 私の方からは、アジアにおける人材育成についてお伺いをさせていただきます。

近年、アジア諸国は目覚ましい経済発展を続けておりました、地域別の域内貿易比率を見ても、アジア地域の貿易比率はEUに迫る勢いで今、向上しております。その意味においても、日本とこのアジアの関係は、ますますいや増して重要度を増しているといえます。

都は、このアジアの首都や大都市で構成するアジア大都市ネットワーク21を立ち上げ、アジアの大都市間の連帯と協力を強化し、アジアのアイデンティティを強固にし、国際社会におけるアジア地域の重要性を高める取り組みをされております。

物事を発展させ、よりよき社会構築のために、まさに重要な視点が人材育成であります。二十一世紀は、人材を育て、人材を輩出した地域や団体が発展をしていくといっても過言ではないというふうに思います。その意味でも、国際社会におけるアジアの地位を上げていくためには、アジアの将来を担う人材育成が不可欠であるといえます。

都は、「十年後の東京」への実行プログラム二〇〇八の中で、アジアの将来を担う高度な人材の育成の取り組みを開始されていますが、平成二十年度におけるアジアの人材育成事業についての取り組みをお伺いいたします。

○**長澤参事** 東京都は、平成二十年度から首都大学東京に留学生を受け入れ、環境、医療問題などアジアの大都市問題の解決や、アジアにおける科学技術等の発展に資する高度先端的な研究を実施することを通じて、各分野で先導的な役割を担う人材の育成を図っております。

また、各都市の行政施策の向上を目指す行政職員や専門家に対する研修事業、感染症の分野における共同研究、アジアの各都市との人的ネットワークの形成を目指すアジア人材バンクの設置等を行っております。

○**小林委員** アジアにおいて多様な課題が存在する中で、多方面から優秀な人材を育成していくという都の取り組みは、大変に重要なことであるというふうに思います。中でも、都市における問題の解決に最前線で取り組む行政職員の能力向上は、アジアの大都市の発展に不可欠なテーマでもあります。

そこで、行政職員や専門家に対して行っている研修事業について、具体的な取り組みをお伺いいたします。

○**長澤参事** これまで東京都は、アジア大都市ネットワーク21の共同事業の一環といたしまして、環境、上下水道、都市づくり及び感染症など幅広い分野において、アジア諸都市の行政職員や専門家を東京に受け入れ、東京の持つすぐれた技術やノウハウを習得するための研修事業を実施してまいりました。

平成二十年度は、会員都市全体で八つの研修事業を実施し、アジアの八都市の延べ五十名以上の行政職員や専門家が研修に参加しております。

また、昨年度からは新たに、消防救助技術の推進指導員を育成する研修を開始いたしました。バンコクの消防隊員を東京消防庁に受け入れ、研修を実施し、その三カ月後に東京消防庁の職

員を講師としてバンコクに派遣し、研修指導の支援と指導内容の確認を行うという、実効性の高い研修手法を採用し、効果的な育成につなげることができました。

このように、行政職員等に対する研修事業は、各都市の施策向上に着実に成果を上げております。

○**小林委員** 今、ご答弁にありましたとおり、行政職員などの人材育成については、着実な実績を重ねておられるということでございますけれども、都には都市問題の解決につながるさまざまなノウハウが蓄積をされているというふうに思います。今後もさらなる研修事業の充実を図って、積極的な展開に努めていただきたいというふうに思います。

また、アジアの各都市が抱える諸課題に対しまして、行政職員の能力を高めるとともに、各都市の専門家が共同して問題解決のために研究に当たることも重要であるというふうに思います。

先ほどのご答弁の中で、感染症の分野において共同研究を実施しているとのことですが、現在の進捗状況について伺いをいたします。

○**長澤参事** 感染症分野における共同研究としては、結核対策をテーマとし、本年二月に第一回会議を東京で開催し、結核共同調査研究計画の合意を得た上で、平成二十一年度に入り、参加都市が順次調査を開始したところであります。

結核は、アジアの各都市においていまだに大きな健康問題を引き起こしている主要な感染症であり、各都市はその対策に深い関心を持っております。共同研究では、質の高い診断及び結核の感染拡大を抑えるための効果的な方法を探ることを目的としております。

調査に参加している各都市では、現在、計画に基づき、高齢者や社会経済的困難層などのハイリスク層の実態調査、各都市の結核予防、治療等を行う組織における活動内容の調査を行っております。

今後は、結核共同調査研究の推移を見ながら、実務者会議の中で、H I V・エイズ対策や新型インフルエンザについても随時情報交換を行ってまいります。

○**小林委員** まずは、今研究が進められております結核共同調査研究、これがアジア各都市の結核感染の拡大抑制に大きな成果を上げられますことを期待しております。その上で、今後このような共同研究が、保健衛生の分野に限らず、まちづくりであったり、また防災などの他の分野におきましても積極的に展開されることを要望したいというふうに思います。

都は昨年度、アジア人材育成基金を創設し、アジアの優秀な人材育成につながる施策の取り組みを今年度から本格的に開始されますが、日本とアジアの関係性、そしてアジア地域の発展を考えたときに、大都市東京が果たすべき使命は大きく、また重要な立場にあるというふうに思います。アジア人材育成事業のより一層の充実が図られることを望みますとともに、日本が、そして東京が中心となって、アジアの友好関係が大きく前進することを期待いたしまして、私の質問を終わります。ありがとうございました。